

CHINA

シンガポールの経済視察団(労働担当大臣ら20人)が、高崎市にある企業の植物工場を見学(26日付)



自動車工場は、中国で今後5年間に、電気を使う駆動装置(パワートレイン)を搭載した「e-tron」シリーズ5車種を生産、販売する。(7面)

安川電機は、中国でスマートフォン製造用のロボットに本格参入する。EMSの深圳市チャンイン精密技術と提携、合併会社を設立。安川がサーボモーターなどの現地供給。(8面)

環境対応車、5車種生産
アウディ・第一汽車
アウディと、合併相手の中国・第一

4月24日(月)

■銅生産3月8.5%増—高水準
鉄鉱石18%増/鉛10%増
中国の3月の精錬銅生産は、前年同月比8.5%増の76万4000トだった。2015年12月以来の高水準。アルミ2.5%増、鉛10%増。亜鉛0.8%、鉄鉱石18%増。(時事=11面)

4月25日(火)

■GM、「純EV」中国生産
上海にバッテリー組立工場

米GMは、中国でガソリンを使わず電気だけで走行する純電気自動車の生産を2年以内に開始する。上海にバッテリー組立工場を建設。「新エネルギー車」を10車種。(時事=7面)

エコカー補助金を回復

鄭州日産自動車など6社

中国工業情報化省は、エコカー補助金の受給資格を停止していたメーカー6社の受給資格を回復した。鄭州日産自動車と上汽唐山客車、金華青年汽車製造など。(時事=7面)

環境対応車、5車種生産

アウディ・第一汽車
アウディと、合併相手の中国・第一

4月26日(水)

■日本電産、海外工場減員
8万→4万人/中国など新興国
日本電産は、生産の合理化・自動化を進めることで、中国など新興国の工場で働く従業員を約8万人から、2020年までに半分の4万人程度に減らす。人材の構成を大幅に変える。(3面)

4月27日(木)

■工作機械の部品—供給拡充
DMG森精機/上海に新センター
DMG森精機は、中国で工作機械の

4月28日(金)

■フェローテック、大連に新工場
半導体製造装置/洗浄・再生
フェローテックHDは、中国での半導体需要の拡大に合わせて、大連市に第4工場を新設し移転した。半導体製造装置やフラット・パネル・ディスプレイ製造装置の部品を洗浄・再生。(12面)

5月1日(月)

■キーサイト、中国電信が採用
IoT通信チップ/試験機器
米キーサイト・テクノロジーの計測

機器が、中国電信(チャイナテレコム)から、IoT向け通信用のチップセット開発における接続性や消費電力の試験用として採用された。(7面)

「宇宙貨物船」補給実験に成功

ドッキング・推進剤注入
中国初の無人補給船「天舟1号」から、宇宙実験室「天宮2号」に推進剤を補給するテストが行われ、中国は成功を宣言。ドッキングや推進剤注入などの実験を繰り返す。(時事=15面)

5月2日(火)

■マスタック、中国で販売
カップケーキ製造ライン
マスタックは、中国でカップケーキ製造ラインの販売に乗り出す。中国では人件費が高騰し、省力化ニーズが高まっている上、高級洋菓子の消費が拡大している。(3面)

5月9日(火)

■中国輸出、底堅さ維持
4月/貿易黒字380億
中国の4月の輸出は、世界の需要が

「中国・アジアダイジェスト」面
今回は6月5日に掲載します。

5月10日(水)

■上海に子供向け「ロボ教室」
ヒューマンHD
ヒューマンHDは、上海市にショールーム機能を備えたロボット教室を開業した。子供たちがブロックを組み立てながらロボットを製作することで、動力の仕組みを理解。(7面)

5月12日(金)

■海外銀行との決済—急拡大
2009年65件→2016年2246件
中国の銀行が、世界的な金融危機後、海外との決済ネットワークを急激に広げた。国際決済のための「コルレス契約」は2016年に2246件と、2009年の65件から急増した。(時事=19面)

5月12日(金)

■菊水化学、中国に新工場
建築用塗料/2万2400ト
菊水化学工業は、中国で建築用塗料などを製造する新工場が完成、本格稼働する。塗料中心に初年度2万2400ト。現地デベロッパーなどに販売する。同社初の海外工場。(3面)

ASIA

4月24日(月)

■ナガオシステム、ベトナム進出
ボールミル/研究開発向け

ナガオシステムは、ベトナムに進出する。川崎市がホーチミンに設置したレンタルオフィスに入居。大企業のR&Dセンターや大学、研究機関向けにボールミルを投入。(8面)

「ギャラクシーS8」販売開始

サムスン/安全性前面に

韓国サムスン電子は、「ギャラクシーS8」を韓国で発売した。米国、カナダ、欧州、中東でも順次販売。「7」の発火問題を受け、安全性点検を大幅に強化。(時事=9面)

4月25日(火)

■レンゴウ、7拠点体制
インドネシア/段ボール企業買収

レンゴウは、タイ現法を通じてインドネシアの段ボールメーカー・インドコル・パッケージング・チカランの発行済み株式80%を取得。同国の段ボール生産は7拠点体制。(3面)

タイ・ベトナム・米社株取得

住商/車用鋼管

住友商事は、自動車用鋼管の製造、販売などを手がけるタイTSP、ベトナムVSP、米国STIの株式を、三井物産から取得した。海外での車用鋼管製造のネットワークを拡充。(4面)

4月26日(水)

■三菱自、インドネシア工場稼働
年産16万台/650億円投資

三菱自動車は、インドネシアで新工場の開所式を開き、生産を始めた。650億円投資。年産能力16万台。タイやフィリピンを加えた東南アジアでの年産能力は63万台。(6面)

土砂崩れ危険、7日先まで予測

NEC/タイで実験

NECは、タイ北部で土砂崩れシミュレーションシステムを活用し実験。観測雨量や標高値、透水係数、粘着力、内部摩擦力などを基に土砂崩れの危険度を最大7日先まで予測。(11面)

高崎の植物工場など見学

シンガポール経済視察団

シンガポールの経済視察団が、群馬県の高崎市役所を訪れた。テオ・サラック労働省担当大臣やシンガポール製造業連盟会長ら20人。植物工場などを見学。(27面)

4月27日(木)

■アジア医療機器団体と覚書
医機連/海外2団体目

日本医療機器産業連合会は、シンガポールにある医療機器・体外診断用医薬品などの産業団体「アジア太平洋医療技術協会」と連携強化で覚書を結んだ。締結は海外2団体目。(11面)

4月28日(金)

■帝人、タイで不織布増産
長繊維型/年200ト

帝人は、長繊維不織布「ユニセル」

を海外で生産する。タイ工場に年産能力200トのラインを新設。岩国事業所と合わせ15%高まる。自動車の遮熱材向け需要が増加。(13面)

大商、ミャンマーに貸し工場

中小企業進出を支援

大阪商工会議所は、ミャンマーの工業団地に小規模レンタル工場設置で、商工会議所連盟などと覚書。中小企業進出を支援。レンタル工場での連携はベトナムに次ぎ2例目。(30面)

5月1日(月)

■タダノ、タイに販売合併
車両積載型カーゴクレーン

タダノは、タイ・バンコクに合併による販売会社を設立する。車両積載型のカーゴクレーンの販売拡大を狙う。現地販売子会社にタイITIが資本参加する方式。(7面)

5月2日(火)

■コニシ、ベトナム増産
接着剤/月360トに倍増

コニシは、ベトナムの合併子会社で、接着剤の生産量を現在の月180トから同360トに倍増する。2億円投資。ベトナムで需要が伸びている段ボール用接着剤など向け。(8面)

5月3日(水)

■日銀総裁、AIIIBに理解
インフラ需要は大きい

黒田東彦日銀総裁は「アジアではインフラ需要は大きい。アジア開発銀行と世界銀行だけで需要を全て満たすのは不可能だ」と指摘。アジアインフラ投資銀行に理解を示した。(2面)

シンガポールで研究開発

栗田工業/水資源・環境技術

栗田工業は、シンガポールに研究開発のための現地法人を設立。水資源・環境技術に関わる大学や研究機関、企業の研究開発拠点が数多くあり、情報収集と共同技術開発。(3面)

アジア開銀、横浜で年次総会

経済発展・課題討議

アジア開発銀行の第50回年次総会が、横浜市で4日から開かれる。財務相や中央銀行総裁、民間金融機関など約4000人が参加。アジアの経済発展や課題などについて話し合う。(15面)

5月4日(木)

■インドに日本の建築基準
インフラシステム輸出加速

国土交通省は、インドで日本の建築基準の普及に乗り出す。住宅やビルの耐震・免震など現地の関心が高い分野を中心に、最新の技術や建材も紹介。インフラシステム輸出を促進。(1面)



日立、韓国大学病院と交渉権

重粒子線がん治療装置

日立製作所は、韓国大手大学病院の延世大学校医療院から同国初となる重粒子線がん治療装置の納入に関する独占交渉権を獲得した。建屋の設計に必要な技術情報を提供。(8面)

台湾・就業体験生受け入れ

横浜/中小の外国人採用

外国人採用への動きが中堅・中小企業でも広がる。横浜企業経営支援財団は、台湾の国際企業人材育成センターの就業体験生を受け入れている。2016年度は市内25社が受け入れた。(19面)



大江電機の社内研修最終日、朱彦杰(右)さんに説明する大江社長(左)

5月5日(金)

■日本の薬事規制、アジアに発信
現地ニーズに合わせ研修

医薬品医療機器総合機構(PMDA)が、アジアで日本の医薬品や医療機器の規制に関する情報発信。インドネシア、ベトナム、台湾、バンコクで現地ニーズに合わせた研修。(2面)



「アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター」の研修(PMDA提供)

戸上電機、若手に語学留学

営業・開発/フィリピン

戸上電機製作所は、社員の海外短期留学制度を導入した。フィリピンで3カ月、語学研修。20代から30代前半の社員。営業や技術、開発の人員が中心になる。(8面)

製紙—アジアに主戦場

容器・包装

国内紙市場の成熟で、製紙大手が海外で段ボールや紙パックなど川下分野のパッケージング事業強化に動いている。主戦場は経済発展を続けるアジアの新興国だ。(9面)

5月9日(火)

■大塚HD、インド輸出強化
インド併合出資80%に

大塚HDは、インド併合会社への出資比率を80%に引き上げる。インドでの輸液事業強化へ意思決定を早める。22億円投資。インド医薬品のクラリスL Sの持ち分20%を取得。(3面)

補修部品の供給体制を拡充する。上海事業所の敷地内に部品の保管と発送をするパーツセンターを新設。24時間以内の出荷を日独と同じ95%に。(8面)

二次電池電解液—統合に遅れ

三菱ケミ・宇部興産/当局審査

三菱ケミカルと宇部興産が、4月に予定していた中国のリチウムイオン二次電池電解液事業統合が遅れている。中国当局の独占禁止法審査が当初想定より長引いているためだ。(13面)

七七七銀、香港・東亜銀と協力

香港・中国進出を支援

七七七銀行は、香港の東亜銀行本店で調印式を開き、両行の業務協力に関する覚書を締結した。取引先の紹介や金融サービス、投資環境情報の提供、取引先の進出支援など。(21面)

4月28日(金)

■フェローテック、大連に新工場
半導体製造装置/洗浄・再生

フェローテックHDは、中国での半導体需要の拡大に合わせて、大連市に第4工場を新設し移転した。半導体製造装置やフラット・パネル・ディスプレイ製造装置の部品を洗浄・再生。(12面)

5月1日(月)

■キーサイト、中国電信が採用
IoT通信チップ/試験機器

米キーサイト・テクノロジーの計測

5月10日(水)

■東南アに米通商政策の影
EUとのFTA/RCEP

米トランプ政権の通商政策が、ベトナムやマレーシアなど東南アジア諸国に影を落としている。ベトナムはEUとのFTAに活路。マレーシアはRCEPを優先。(3面)

シャープ米拠点—9月まとめ

大統領らと会談

郭台銘鴻海会長と戴正興シャープ社長は、トランプ米大統領や米国防務局幹部らと会談。シャープの米国の製造拠点について、9月をめぐり投資計画をまとめる。(3面)

5月10日(水)

■日立オムロン、韓国企業を買収
紙幣処理機

日立オムロンターミナルソリューションズは、韓国の紙幣処理機メーカー「シーテック」を買収する。ATMからバックヤードの紙幣処理機まで品ぞろえ。(10面)

三井住友、台湾銀行と提携

航空機・プロジェクトなど

三井住友FGは、台湾銀行と航空機、船舶、プロジェクトファイナンスなどで業務提携。三井住友銀行などを通して協業、海外を強化。円と台湾ドルの資金面での相互支援。(19面)

5月11日(木)

■神鋼、米ノベリスと提携
アルミ板母材/韓国で生産

神戸製鋼所は、アルミニウム圧延大手の米ノベリスと提携し、韓国でアルミ板の母材を生産する。車体の軽量化が加速、日本やアジアで車用アルミパネル材の需要が増加。(3面)

バングラで予防医療を実証

農村部を巡回→遠隔診療

九州大学などが、ICTを活用した予防医療の実証をバングラデシュで進めている。医療環境が不十分な農村部を看護師が検査キットを持参で巡回、都市部の医師が遠隔診療。(24面)

5月11日(木)

■住友重機、シンガポール合併
飲料機械/アジア開拓

住友重機工業は、ドイツ飲料機械メーカー・クロネスなどと合併会社をシンガポールに設立する。アジアはお茶やコーヒー系飲料の販売量が増加、飲料機械の需要が拡大。(9面)

住友重機、シンガポール合併

飲料機械/アジア開拓

住友重機工業は、ドイツ飲料機械メーカー・クロネスなどと合併会社をシンガポールに設立する。アジアはお茶やコーヒー系飲料の販売量が増加、飲料機械の需要が拡大。(9面)

特許翻訳—東南ア進出

知財コーポ/ベトナム社と連携

知財コーポレーションは、ベトナム

住友重機、シンガポール合併

飲料機械/アジア開拓

住友重機工業は、ドイツ飲料機械メーカー・クロネスなどと合併会社をシンガポールに設立する。アジアはお茶やコーヒー系飲料の販売量が増加、飲料機械の需要が拡大。(9面)

特許翻訳—東南ア進出

知財コーポ/ベトナム社と連携

韓国大統領に文在寅氏

貿易立国—手腕に期待

日米中と関係改善力

韓国の朴槿恵前大統領の罷免に伴う大統領選は、革新系最大野党「共に民主党」の文在寅(ムン・ジェイン)氏が勝利し10日、大統領に就任した。核開発を繰り返す北朝鮮への対応が最大の争点になったが、通商・経済に目を転じると、韓国は輸出の対GDP比率が4-5割と高い貿易立国だけに、大口の輸出先である中国や米国、日本などいかに安定した関係を構築できるかが課題となる。

首相に知日派・李氏指名

韓国大統領、訪朝に意欲

文在寅氏(64)が、第19代大統領に就任した。国会本会議場前のホールで就任を宣誓。演説で米国、中国、日本訪問に意欲を示し「条件が整えば(北朝鮮の)平壤も訪れる」と表明した。新首相には李洛洛・全羅南道知事(64)が指名された。李氏は大手紙・東亜日報の東京特派員を経て、政治家に転じて韓日議員連盟の幹事長を務めた知日派。慰安婦問題など対日政策に積極的に関与するとみられる。(時事)

日韓合意—首相が履行を要請

再交渉には応じない/政府方針

菅義偉官房長官は、韓国新大統領に文在寅氏が就任したことを受け、慰安婦問題に関する日韓合意の着実な履行を安倍晋三首相から直接要請する方針を示した。また、文氏が選挙戦で訴えた合意の再交渉には応じない考えを改めて強調した。

いすゞ、ラオスにサービス拠点

商用車/他社製も

いすゞ自動車は、海外アフターセールス体制の強化を目的に、ラオスに商用車のサービス拠点を開設する。商用車の修理や点検、補修部品の販売などの拠点。他社も手がける。(6面)

日本化薬、韓国医薬と提携

悪性リンパ腫の後続品

日本化薬は、韓国バイオ医薬品・セルトリオンが第3相臨床試験を実施中の悪性リンパ腫などの治療薬のバイオ後続品について、日本国内の販売提携で基本合意した。(11面)

5月12日(金)

■タイにサービス拠点
アーステック/破砕機など

アーステックは、タイに破砕機などの販売・保守を手がけるサービス拠点を設立する。社会インフラ整備が加速する東南アジアでは、セメント材料などの生産が拡大。(9面)

住友重機、シンガポール合併

飲料機械/アジア開拓

住友重機工業は、ドイツ飲料機械メーカー・クロネスなどと合併会社をシンガポールに設立する。アジアはお茶やコーヒー系飲料の販売量が増加、飲料機械の需要が拡大。(9面)

特許翻訳—東南ア進出

知財コーポ/ベトナム社と連携



10日、韓国・ソウルの自宅で李淳鎮・軍合同参謀本部長と電話する文在寅大統領(EPA・時事)

政治・経済の安定求める

自由貿易を推進/経済界

経団連の榊原定征会長は「韓国の政治・経済を一瞬も早く安定化するとともに、朝鮮半島情勢に対し関係国と連携の下、適切に対応してほしい」。日本商工会議所の三村明夫会頭は「両国関係が着実に進展するとともに、北朝鮮問題に適切にかじ取りがなされることを期待したい」。

経済同友会の小林喜光代表幹事は

「新大統領のこれまでの対日姿勢などを踏まえると、今後の日韓関係の行方が懸念される」としながらも、「日米韓など関係国間の緊密な連携と協調が今ほど重要性を増している時はない」。

大阪商工会議所の尾崎裕会頭は

「経済面ではFTAをはじめとした自由貿易体制の推進に力を尽くしてほしい」。

5月11日(木) 2面に掲載

の翻訳会社グリーンサンコーポレーションと連携、東南アジアの知財翻訳を

開拓する。東南アジアの言語で特許を出願する企業が増えている。(27面)

TELOP

■インドネシア銅山、スト計画
人員削減に抗議(時事=24日11面)

■マレーシア合併子会社化
シャープ(25日3面)

■新ギャラクシー画面の赤み対応
色調設定アプリ(時事=25日12面)

■東芝、インドネシアで発電設備
5000億円受注(25日13面)

■エレベーター工場に試験塔
三菱電機、タイ(25日13面)

■台湾の鉄道・空港会社と連携
南海電鉄・関西エア(25日16面)

■マレーシア政府機関と投資促進
三井住友銀行(25日27面)

■東京ガス、マニラに事務所
エネルギー関連調査(26日14面)

■センコー、ベトナムに物流拠点
家電/輸出(26日15面)

■台湾子会社、カナグル錠販売
田辺三菱製薬(27日11面)

■三井造船、土木・建築を受注
インドネシア石炭火力(5日7面)